

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	
科目名	障害をもち生活する人を支える看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	8 時間(単位)
対象学年	2学年		学期及び曜時限		教室名	
担当教員	中村 辰江 前田 ひかる	実務経験と その関連資格	大阪医療センター小児科3年勤務 刀根山大阪医療センター脳神経内科8年勤務 実務経験32年			
《授業科目における学習内容》						
障害により日常生活が規制され、生涯にわたり身体機能障害と共生していく対象の心理・社会的変化を理解し、身体機能障害への適応、残存機能の維持、社会復帰への援助方法 及び家族への支援について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
終講試験と授業態度(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統別看護学講座専門分野Ⅱ:成人看護学⑦脳神経(医学書院) 毎回、教員作成の講義資料配布						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書を事前に読んでおくこと 授業終了時に示す課題を実施しておくこと 前回授業内容について復習をしておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
この授業は障害をもつ人が、疾病と共存し、その人らしい生活を営めるよう援助する看護の基礎的能力を養うことが目的である。疾患をもつ成人期にある人の健康の回復を促進するための看護を学ぶために、解剖生理・病態生理など既習の学習を行い、授業にしっかり臨んで欲しいです。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	1) 障害の捉え方と障害をもつ対象に必要な看護の視点を理解できる 2) 脳の解剖生理の復習ができる		教科書 講義資料	教科書を読んで来ること	
	各コマにおける授業予定	1) 障害とは 2) 障害をもつ対象と家族の看護①障害に対するリハビリテーションと看護②障害に対する薬物療法と看護 3) 障害に関わる治療を受ける対象の看護①身体機能維持・回復を促す看護援助②障害受容③セルフケアの援助と家族の援助④社会資源の活用 4) 脳の構造と機能の復習				
第2回	授業を通じての到達目標	脳に障害のある対象の病態生理・検査・治療・看護について理解できる		教科書 講義資料	授業に関連する解剖生理・病態生理の復習 教科書を読んで来ること	
	各コマにおける授業予定	2) 代表的な症状(意識障害・頭蓋内圧亢進・高次機能障害・運動機能障害・感覚機能障害・自律性のある機能の障害・髄膜刺激症状)と看護 3) 検査と治療・処置(脳血管疾患)と看護 4) 主な疾患と看護(くも膜下出血,脳出血,脳梗塞,脳腫瘍)				
第3回	授業を通じての到達目標	神経系に障害をもつ対象の病態生理・検査・治療について理解できる		教科書 講義資料	授業に関連する解剖生理・病態生理の復習 教科書を読んで来ること	
	各コマにおける授業予定	1) 神経系の構造と機能 2) 主な症状と病態生理(筋ジス・パーキンソン病・ALS) 3) 検査と治療・処置				
第4回	授業を通じての到達目標	神経系に障害をもつ対象の看護について理解できる		教科書 講義資料	授業に関連する解剖生理・病態生理の復習 教科書を読んで来ること	
	各コマにおける授業予定	1) 主な疾患と看護(筋ジス・パーキンソン病・ALS)				
第5回	授業を通じての到達目標					
	各コマにおける授業予定					